

広島県の地震

2025（令和7）年1月

目次

広島県及びその周辺の地震活動…………… 1

震央分布図・断面図と地震概況

広島県における震度1以上の地震…………… 2

震度一覧表と震度分布図

地震メモ 第242回…………… 5

長期評価による地震発生確率値の更新

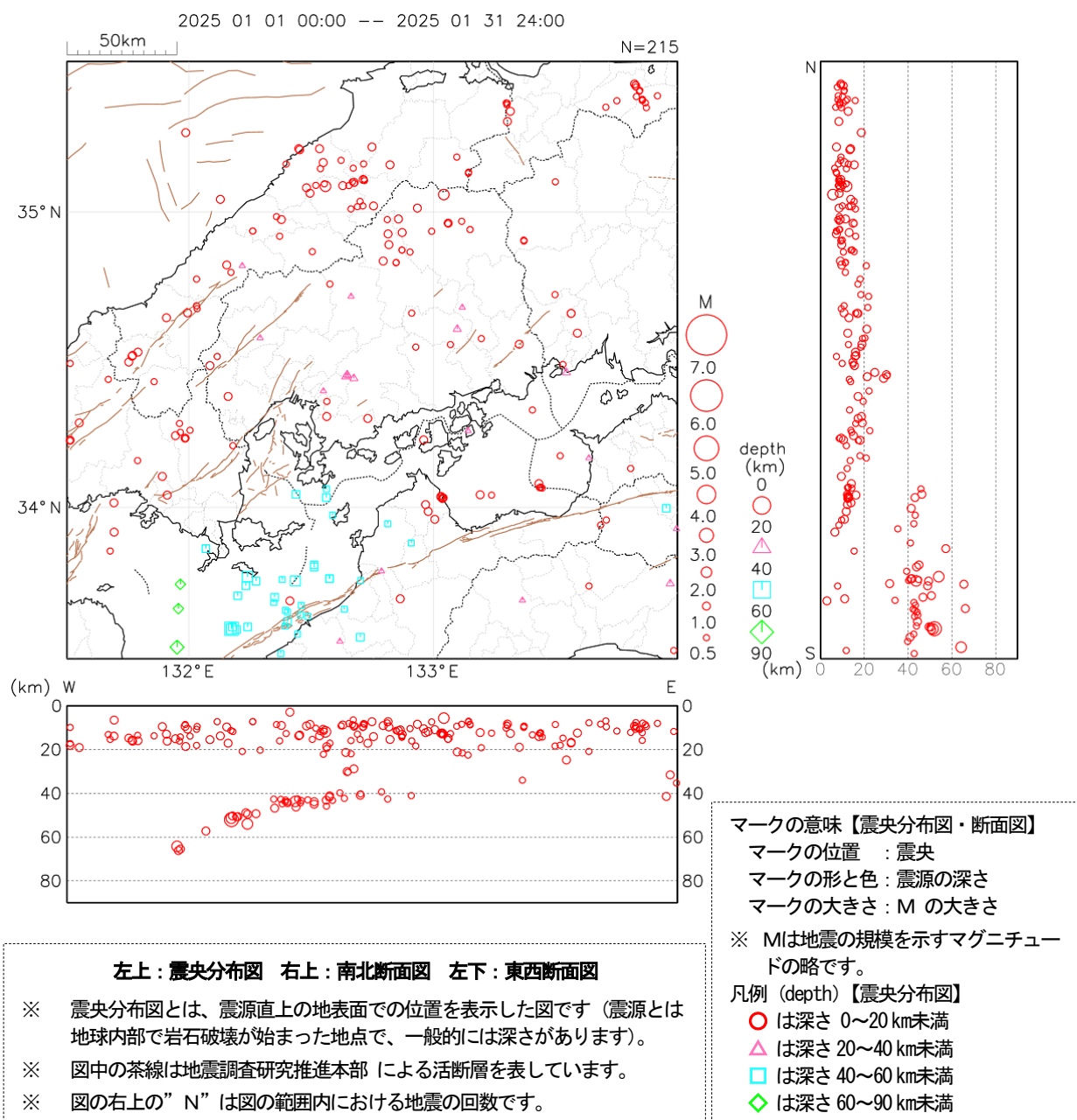
～令和7年1月15日公表～

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2025 年 1 月 1 日~1 月 31 日



【地震概況】

この期間、広島県内で震度1以上を観測した地震は3回でした（先月は3回）。

13日21時19分 日向灘の地震（深さ36km、M6.6：上図の範囲外）により、宮崎県高鍋町・新富町・宮崎市で震度5弱を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

14日01時14分 日向灘の地震（深さ28km、M5.0：上図の範囲外）により、熊本県産山村、宮崎県高千穂町・美郷町で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

15 日 02 時 12 分 日向灘の地震（深さ 29km、M5.4：上図の範囲外）により、宮崎県宮崎市で震度 4 を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度 3～1 を観測しました。

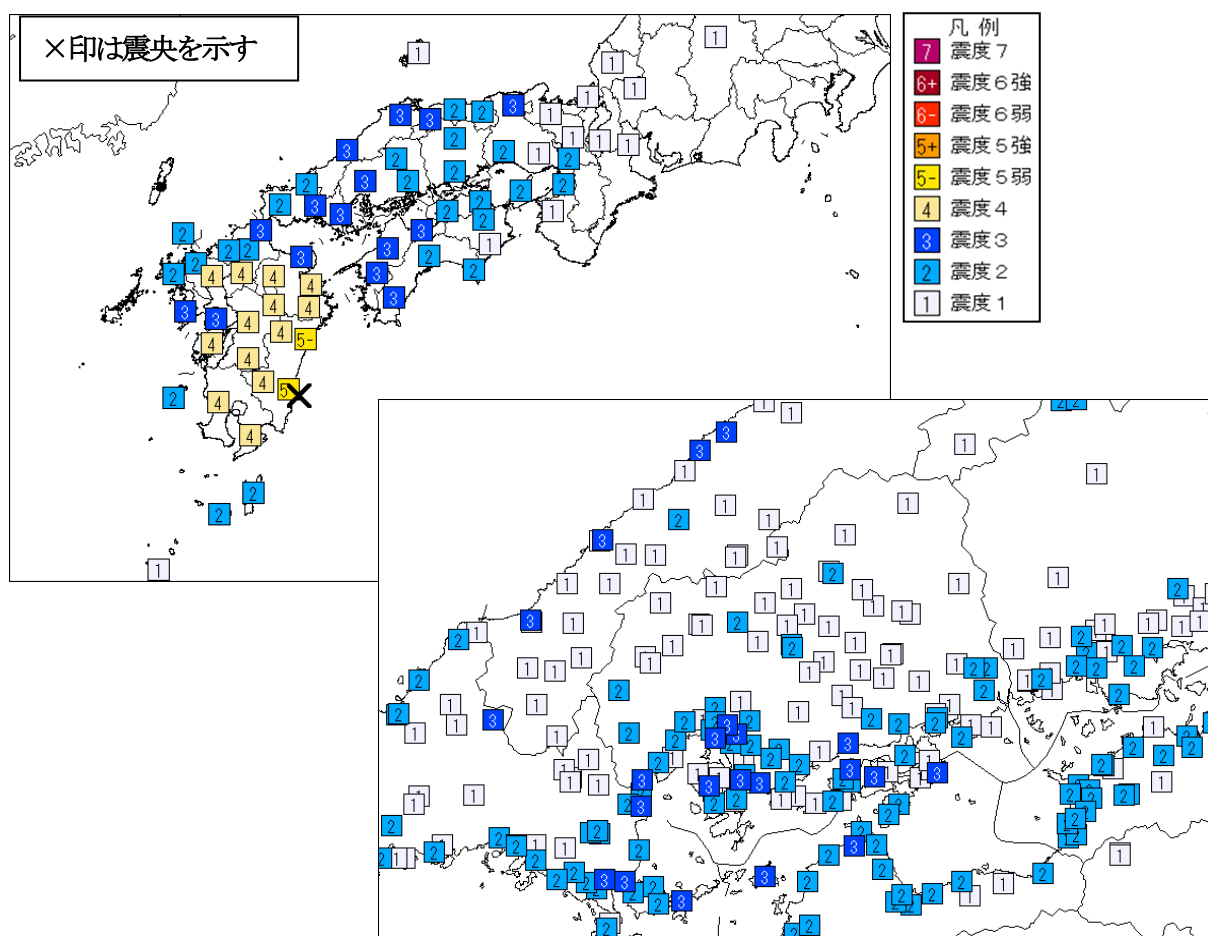
広島県における震度 1 以上の地震

【震度一覧表】

発震時刻（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度					
2025年01月13日21時19分	日向灘	31° 49.7' N	131° 34.2' E	36km	M6.6
——— 地点震度 ———					
広島県	震度 3：広島南区宇品海岸＊、呉市宝町、呉市広＊、大竹市小方＊、府中町大通り＊ 海田町役場＊、江田島市能美町＊、竹原市中央＊、大崎上島町東野＊				
	震度 2：広島三次市十日市中、安芸高田市向原町長田＊、安芸高田市向原町＊、北広島町有田 三原市円一町、三原市本郷南＊、尾道市向島町＊、尾道市瀬戸田町＊、尾道市久保＊ 福山市東桜町＊、福山市駅家町＊、福山市神辺町＊、福山市内海町＊、広島中区上八丁堀 広島中区羽衣町＊、広島安佐南区祇園＊、広島安芸区中野＊、広島佐伯区利松＊ 呉市二河町＊、呉市郷原町＊、呉市川尻町＊、呉市音戸町＊、呉市安浦町＊、呉市豊町＊ 東広島市黒瀬町、廿日市市大野＊、廿日市市下平良＊、廿日市市津田＊、廿日市市吉和＊ 熊野町役場＊、坂町役場＊、江田島市大柿町＊、大崎上島町中野＊、大崎上島町木江＊				
	震度 1：広島三次市三次町＊、広島三次市甲奴図書館＊、広島三次市三和町＊ 広島三次市三良坂町＊、広島三次市吉舎町＊、庄原市西城町熊野、庄原市口和町＊ 安芸高田市八千代町＊、安芸高田市高宮町＊、安芸高田市吉田町＊ 安芸高田市美土里町＊、安芸高田市甲田町＊、安芸太田町加計＊、安芸太田町中筒賀＊ 安芸太田町戸河内＊、北広島町都志見、北広島町豊平郵便局＊、北広島町川小田＊ 北広島町大朝＊、広島空港、三原市大和町＊、三原市久井町＊、尾道市長江＊ 尾道市因島土生町＊、尾道市御調町＊、福山市松永町、福山市鞆町＊、福山市新市町＊ 福山市沼隈町＊、広島府中市上下町上下＊、世羅町東神崎＊、世羅町西上原＊ 世羅町小国＊、神石高原町油木＊、広島東区福田＊、広島西区己斐＊、呉市音戸中学校 呉市下蒲刈町＊、呉市豊浜町＊、呉市焼山＊、呉市蒲刈町＊、東広島市西条栄町＊ 東広島市福富町＊、東広島市豊栄町＊、東広島市河内町＊、東広島市安芸津町＊ 廿日市市宮島町＊、江田島市江田島町＊、江田島市沖美町＊				
2025年01月14日01時14分	日向灘	31° 56.5' N	131° 52.8' E	28km	M5.0
——— 地点震度 ———					
広島県	震度 1：呉市広＊、大竹市小方＊、府中町大通り＊、江田島市能美町＊				
2025年01月15日02時12分	日向灘	31° 46.1' N	131° 50.9' E	29km	M5.4
——— 地点震度 ———					
広島県	震度 1：府中町大通り＊				

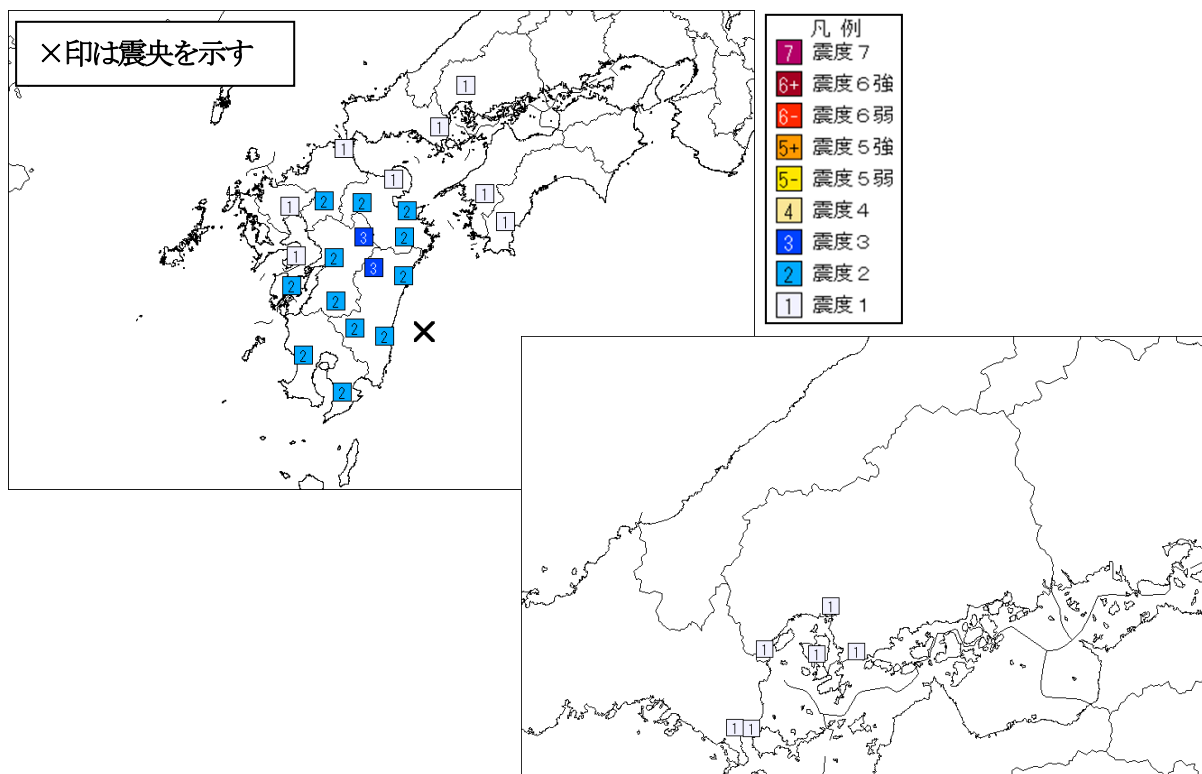
注）震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】



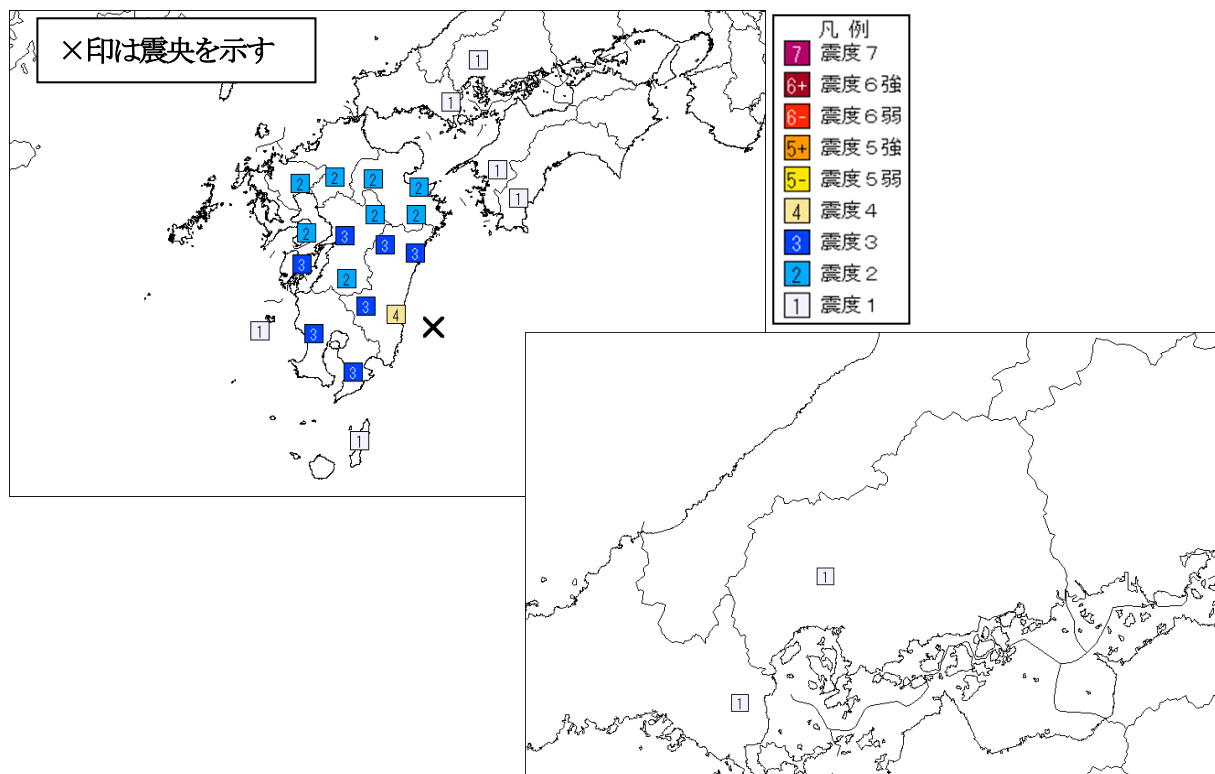
2025 年 1 月 13 日 21 時 19 分 日向灘の地震の地域震度分布図 (左)

日向灘の地震の観測点震度分布図 (右)



2025 年 1 月 14 日 01 時 14 分 日向灘の地震の地域震度分布図 (左)

日向灘の地震の観測点震度分布図 (右)



2025 年 1 月 15 日 02 時 12 分 日向灘の地震の地域震度分布図 (左)

日向灘の地震の観測点震度分布図 (右)

地震メモ 長期評価による地震発生確率値の更新

～令和7年1月15日公表～

第242回

政府の地震調査委員会は、主要な活断層や海溝型地震を対象に、地震の規模や一定期間内に地震が発生する確率を予測したものを「地震発生可能性の長期評価」（長期評価）と呼び、毎年1月1日に算定し結果を公表しています。

このうち海溝型地震における評価対象の一つである南海トラフ沿いで発生するマグニチュード8～9クラスの地震については、今後30年以内に発生する確率が、これまでの「70～80%」から「80%程度」に更新されました。

南海トラフの地震（第2版）の発生確率値の更新前後の比較（算定基準日 R7.1.1）

	2024年1月1日時点の評価	2025年1月1日時点の評価	海溝型地震のランク分けの凡例	
M8～M9クラス	Ⅲ＊ランク	Ⅲ＊ランク	ランク分け	30年以内の地震発生確率
平均発生間隔	88.2年		Ⅲランク	(高い) 26%以上
ばらつき α	0.20～0.24		Ⅱランク	(やや高い) 3～26%未満
経過率	0.88	0.90	Ⅰランク	3%未満
10年	30%程度	30%程度	Ⅹランク	地震発生確率が不明（過去のデータが少ないため確率の評価が困難）
20年	60%程度	60%程度	算定基準日における地震後経過率が0.7以上である海溝型地震についてはランクに「＊」を付記する。	
30年	70～80% (74～81%)	80%程度 (75～82%)		
40年	90%程度	90%程度		
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上		
100年	90%程度以上	90%程度以上		
300年	90%程度以上	90%程度以上		

◆ ランク分けについて

上の表内に「Ⅲ＊ランク」とあります。「Ⅲランク」は今後30年以内の地震発生確率により分類されたランクの1つであり、地震発生確率26%以上に相当します。以前は確率のみを公表していましたが、確率が何を意味するのか一見分かりにくく、確率が低い場合は「地震のリスクが小さい」といった誤った印象を与えるおそれがあることから、平成28年（2016年）熊本地震以降、長期評価にランク分けが導入されました。また、「＊」は地震後経過率が0.7以上の場合に付記され、最後の地震活動から経過した年数が平均活動間隔に近づいていることを示しています。例えば南海トラフの地震の場合、最後に発生した1946年の昭和南海地震から経った年数が平均活動間隔である88.2年に達すると、地震後経過率が1.0となります。

◆ 地震発生確率について

今回、地震発生確率が「80%程度」という数字はどのように捉えるべきでしょうか。前回からの確率が10%上がったわけではありません。詳細な算定値は前회가「74～81%」、今回の算定値は「75～82%」となり、細かな値に捉われないよう数字の一桁の位を四捨五入し「80%程度」と表現しています。

いずれも70%や80%という数字はいつ地震が起こってもおかしくない確率です。南海トラフ地震は必ず来る、という視点に立ち、いつ地震が発生しても対応できるよう、機会を捉え日頃からの備えを再確認することが大事です。

○ 令和7年1月15日 地震調査委員会公表「長期評価による地震発生確率値の更新について」

https://www.static.jishin.go.jp/resource/evaluation/long_term_evaluation/updates/prob2025.pdf

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階

広島地方気象台 防災管理官室 TEL : 082 - 223 - 3965